

山城しゅんいちを応援する会

しゅんいち通信

第14号

討議資料

2022年10月発行
発行:山城しゅんいちを応援する会
住所:坂城町上五明1248-2
TEL/FAX 0268-82-3955
mobile 090-1459-1066
mail yamashiro.shunichi@gmail.com



あなたとつくる みんなとつくる 未来の坂城



山城峻一
(やましろ・しゅんいち)

〈プロフィール〉

- 1983年9月13日生まれ
- 長野日本大学高等学校卒業、日本大学法学部法律学科、放送大学教養学部教養学科心理と教育コース卒業
- 現在、上田市内の放課後児童クラブの指定管理者などをしているNPO法人ワーカーズコープ職員としても、活動中
- ホームヘルパー2級、児童厚生員2級、放課後児童支援員認定資格、認定心理士、2017年認知症サポーター養成講座受講(真田児童館にて受講)
- 議員連盟等
長野県自然保育議員連盟 副会長(新)
信州オーガニック議員連盟
ストップ気候危機!自治体議員による気候非常事態・共同宣言賛同議員

変化の激しいこの時代をどう生きていくか

新型コロナウイルスに翻弄され始めて2年以上が経ちます。ようやく感染状況は落ち着きつつあり、このまま収束を迎えて欲しいと思っていますし、そうなると信じたいです。

新型コロナウイルス感染症以外に目を向けると海外では、ロシアによるウクライナ侵攻の今後が気になるところです。こちらは終わりが見えず、ロシアは核兵器の使用すら示唆しています。

一方、国内では円安、物価高が止まらず生活に大きな影響を及ぼしています。また7月に安倍元首相が選挙期間中に襲撃され亡くなるという衝撃的な出来事がありました。容疑者は逮捕されたものの、この事件の背景に旧統一協会との関連が報道され、現在では政治家と旧統一教会との様々な関係が問題視されています。

人は誰しもが平和を願い、その実現のためそれぞれが努力をしているはずですが、ただ、コロナ禍になり(いやそれ以前からかもしれませんが)、格差拡大がさらに広がったり、排他的、利己的な発言や行動が時々見られたりします。

今、この瞬間を大切に思い行動していくことはもちろん、これからの社会のあり方を私達一人ひとりが、それぞれの立場で考えていかななくてはと思っています。

坂城町議会議員 山城峻一の町政報告

9月議会は8月31日から9月20日まで開催されました。主な内容は教育委員会委員、固定資産評価委員会委員等の人事案件、令和3年度一般会計及び特別会計の認定等を審議し、いずれも可決しました。

請願や陳情について3件が所管の常任委員会で審議され、「義務教育国費負担制度を堅持・拡充」を求める請願書、「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」を求める請願書、また『消費税「適格請求書(インボイス)方式」』の実施延期を求める請願書が審議され、このうち『消費税「適格請求書(インボイス)方式」』の実施延期を求める請願書のみ不採択となり、本議会においても同様の結果となりました。

今議会最終日に『故安倍晋三元首相の「国葬」』の中止を求める意見書を審議したところ、賛成・反対が同数となり、議長裁決で可決されました。

なお、今議会では、新型コロナウイルスに関する質問を始め、多岐に渡る質問を11名が一般質問をしました。

1



6月議会の会議録が↑お読みいただけます

活動報告

◇9月定例会(一般質問)◇

～性の多様性について～



Q.このテーマについては2年前、2020年12月議会場で質問し、その後、町内外の当事者や支援者等から議会でも取り上げたことについて前向きな言葉が寄せられた。しかしながら、この一般質問の通告後に栃木県のある市議会定例会において、ある議員が『LGBT等、性的少数者に関して「出来たら静かに隠して生きて頂きたい。その方が美しいし、社会に混乱が起きないと思う」と発言した』ということが報道された。

この発言は栃木県が本年9月から導入した「同性パートナーシップ制度」に対し、反対の立場からの発言とのことである。

なお、長野県内では、松本市と駒ヶ根市が導入済みであり、来年春には長野県においても制度を導入するとのことである。「同性パートナーシップ制度」についてですが、「性的マイノリティーのカップルが婚姻に相当する関係であると自治体が証明するもの」と理解されている。

LGBTの認知度は、厚生労働省が行った企業アンケートによれば9割と言われている。しかし、その理解はまだまだ高まってはいないのではないかとのデータも記されている。(浜松市のアンケートによると、社会全体における性の多様性への理解が進んでいると思うかについては、『理解が進んでいない』(「あまり理解が進んでいない」と「理解が進んでいない」の合計)が約6割となっている。)

当町では昨年12月の「人権を尊重し豊かな心を育む町民集会」において「性の多様性」をテーマに講演会が実施された。「性の多様性をテーマに講演会等の実施」を提案していた者として大変嬉しく思っている。そこで、この集会後にアンケートにはどんな感想、または意見があったのか？

A.企画政策課長:参加者からの感想として①講師の体験談を聞き、LGBTに対する理解が深まった。今までうわべだけで理解していたつもりでいた自分に気付いた。②性の多様性について理解が深まった。より多くの人に正しい理解が広まれば良いと思う等の意見感想があった。

Q.今後「性の多様性」をテーマに講演会等を行う計画はあるか？

A.企画政策課長:アンケートからも分かるように、まだまだ身近なことという意識が低く、理解を深めて頂くための継続した取り組みが必要と考えているため、今後も引き続き機会を捉えて実施の検討をしていきたい。

Q.前回の一般質問後に当事者等から町への相談状況とLGBTについての理解促進のため町職員に対する研修の状況は？

A.企画政策課長:町では毎月開催している「心配ごと相談」、年3回開催している「女性のための相談会」、年2回開催の「人権相談」等でLGBTを含む幅広い人権問題に関する相談を受けている。なお現在までにLGBT等に関する性的マイノリティに関する相談はない。

研修の状況については、今年2月に長野地域連携中枢都市圏の職員合同研修として行われた管理職を対象とした研修会に職員3名がオンラインで参加した。「共に働き、共に生きる社会を目指して」と題して当町の町民集会と同じ方を講師に、町民集会と違った視点から話を聞くことが出来た。

Q.LGBTについて、全国的には教育現場においてLGBTに関しての教員の理解不足、知識不足が課題となっている。そのため、児童生徒に適切な教育・支援をする上で、教育現場で研修が行われていると思うが現状は？

A.教育文化課長:教職員の性の多様性に対する知識が不十分であると、子ども達に正しい知識を教えることは難しいと考える。こうした状況を踏まえ、教職員の知識や理解力の向上を図るため、文部科学省が教職員向けに発行した「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について」を周知すると共に、性の多様性の理解を深めるため外部講師を招いた性指導講演会の中で、性の多様性についての内容を話してもらっている他、人権教育の一環として、各学年や職員会等で勉強会を開く等、多様化する性への理解や知識を高めている。

Q.今年2月24日にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まった。しかしながら半年経った今でも終わりが見えない。それどころかロシアは核兵器使用の可能性すら示唆している。

当町では1985年9月27日に「非核平和の町宣言」を制定した。その宣言を制定した町として町民に戦争や平和について学習する機会設ける必要があると私は思う。そこでまず、この宣言制定までの経緯は？

A.町長:宣言に至る経緯として、昭和59年に結成された連絡協議会(トマホークくるな坂城町協議会)により、宣言を求める署名活動が全町で行われた。これにより有権者の約半数約6000名の町民が署名をし、町への陳情と、議会に対する請願がなされた。このことが制定の大きな契機となった。こうした多くの町民の意思を汲む形で、翌年に宣言が提案され、議会では全会一致で議決となった。

Q.戦争や平和について町民が学ぶことは非常に重要なことであると思う。例えば県内の取り組みでは、茅野市では原爆パネルの展示や広島・長崎関係の書籍の展示、原爆の絵の展示(広島市民の描いた絵)、子ども達の平和ポスター(広島の子どもたちの描いたポスター)といった活動や高森町では、広島市・平和記念公園に町民が折った折り鶴を奉納する活動が行われている。また県外では、町田市において「平和なまち」絵画コンテストの募集が行われていたり、日野市ではパネル展や講演会等が行われていたりしている。そこで当町での取り組みの現状とまた今後について取り組みの考えは？

A.町長:広島、長崎に原爆が投下された時間に半旗を掲揚すると共に、投下時間に合わせ、役場のサイレンを鳴らし、原爆で犠牲に遭われた方々への追悼を行っている。また、原水爆禁止日本協議会が核兵器廃絶を訴え、毎年行っている平和行進について、激励を行い、休憩場所を提供する等の協力を行っている。その他にも様々な取り組みを実施している。

Q.学校での取り組みと現状と今後については？

A.教育文化課長:小学校3年生～5年生の国語の時間に、空襲や防空壕、戦時中の生活の様子や原爆の悲惨さ等、学習教材を利用した平和学習が行われている。6年生になると、社会の時間に、「長く続いた戦争と人々の暮らし」をテーマに、日本がなぜ戦争に突入したのか等について学習している。

平成29年度には、村上小学校6年生が松代大本営地下壕に社会見学に行き、現地ガイドから当時の話を聞きながら地下壕を案内して頂いた。このように学校現場では様々な平和学習、平和教育が行われている。

今後については、これまでの取り組みに加え、平和学習を題材にした動画教材の活用や新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いた折には社会見学等の体験型の取り組みを行う等、子ども達に命の尊さや戦争の悲惨さ、平和な世の中を維持することの大切さ等を伝えていく平和学習に努めていく。



坂城町役場前にある各宣言が記されたモニュメント



マウンテンキャッスル

～私の秋～



コーナー名の由来……山城を英語にすると「山」は「Mountain(マウンテン)」「城」は「Castle(キャッスル)」からこの名前にしました。

はう



『私の秋』は、食欲の秋です。
私はさつまいもが大好きで、この時期になると沢山出るお芋スイーツは毎年目が離せなくなります。
その他にも、秋はいつもより食欲が増すので、色んなお店を巡って外食をしたいです。
坂城町にも色々なお店があるので、いつか全制覇目指したいと考えています！

ぶどう



『私の秋』は、五感の秋です。
秋は紅葉も綺麗になり、目で楽しめます。秋の空気はとても独特で、食材の匂いもほのかに漂ってきて鼻や口でも楽しめます。また、鈴虫等の音色も楽しめるので私は秋が大好きです。

7月の活動履歴

- 2日 フードドライブ活動(上田市)
キッズリユースマーケット(上田市)
- 5日 長野県自然保育議員連盟
総会(オンライン)
- 7日 議会報編集特別委員会
- 13日 大人からのあいさつ運動
議会報編集特別委員会
- 14日 町村議会議員研修会(松本市)
- 15日 議会報編集特別委員会
犯罪被害者等支援条例の
必要性についての
シンポジウム(オンライン)
- 20日 坂城町国道バイパス・県道整備
促進期成同盟会監査
議会全員協議会
社会文教常任委員会
- 23日 労働者協同組合フォーラム
2022 in 諏訪(オンライン)
- 24日 公務員キャリアプロジェクト
キックオフセッション(オンライン)
- 30日 サンタ・プロジェクト・うえだ
事務局会議(上田市)

8月の活動履歴

- 1日 後援会報打ち合わせ(長野市)
- 6日 フードドライブ活動(上田市)
- 19日 議会全員協議会
議員研修会
- 22日 後援会報企画会議(上田市)
- 24日 令和3年度国道バイパス・
県道整備促進期成同盟会総会
坂城男女共同みんなの会
打ち合わせ
- 26日 六ヶ郷用水組合議会
全員協議会
六ヶ郷用水組合議会臨時会
- 30日 坂城男女共同みんなの会
打ち合わせ
- 31日 定例会開会
社会文教常任委員会
議会報編集特別委員会

→
あゆ
こさ
さん
作



9月の活動履歴

- 3日 フードドライブ活動(上田市)
- 4日 上五明区防災訓練
- 6日 長野県犯罪被害者支援
センター訪問(長野市)
- 7日 一般質問
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問(14回目)
- 10日 地域子育てフォーラム
2022(1日目)(オンライン)
- 11日 地域子育てフォーラム
2022(2日目)(オンライン)
- 12日 社会文教常任委員会
- 13日 社会文教常任委員会
坂城町文化祭代表者会議
- 14日 大人からのあいさつ運動
- 16日 議会報編集特別委員会
- 20日 定例会閉会
坂城男女共同みんなの会
運営委員会
- 21日 令和4年度 町村議会広報
研修会(東京都)
- 22日 大峰祭開祭式
議会報編集特別委員会
- 26日 後援会報打ち合わせ(長野市)
- 28日 芋掘り作業
- 29日 議会報編集特別委員会

山城
しゅんいち
ウェブでも
発信中!



フェイスブック



ツイッター



ブログ

●若者から一言●

- 【ひ】坂城町に昨年から住んでいる男子高校生のひーくんです。
 - 【か】上田市に住んでいる女子高校生のかんちゃんです。
- ここで2人に質問します!

Q. 出会ったきっかけは何ですか?

【ひ】温泉(びんぐし湯さん館)に山城さんがいて面白そうだったので声をかけました。SNSで話をしてさらに仲良くなれました。

【か】食育に興味があり、こども食堂(山城の勤務先)でボランティア活動をしていた時に会いました。

Q. 第一印象はどうでしたか?

【ひ】ヨチヨチ歩いていてかわいかったです。議員さんだし仲良くなりたいと思いました!

【か】こども食堂のスタッフや子ども達に沢山声をかけていて明るく話しやすい人だと思いました。

次回号では3人で坂城町について話したことを載せます。お楽しみに! ✨

◆特急あさま◆

今年の10月で開業から25年を迎えた北陸新幹線(長野新幹線)。併せて並行在来線のしなの鉄道移管及び横川~軽井沢間(碓氷峠区間)の廃止からも25年を迎えました。

全国各地の第三セクター鉄道会社も、レストラン列車を走らせる等あの手のこの手で頑張っています。新幹線が出来て便利になるのも良いですが、これを機に在来線の魅力を再発見してみるのも良いかもしれません。

(大学の友人 倉地 大より)



芋掘りの時に掘ったさつまいも